

つくば・市民ネットワーク通信 第11号

発行：つくば・市民ネットワーク 発行責任者：阿部登代子 つくば市千現 1-18-5-101 Tel&Fax：029-859-0264
E-mail：tsukubahotnet@ybb.ne.jp ホームページ：http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

つくば市政の改善のために、風車問題の原因解明を!

風車が回らなかったために補助金1億8千万円を国に返還したという失態について、市民ネットではつくば市政の運営上の問題を象徴しているのではないかと考え、その原因解明を重要課題として取り組んできました。

つくば市議会では小型風力発電事業調査特別委員会が設置されており、第3回(07年1月26日)より本格的な審議が始まりました。環境保全部長の事業全体の説明と各委員の質疑の中で、事業の推進



役であった元助役とコンサルタント会社の担当者が事業設計、事業規模の決定、機種を選定に重要な役割を果たしたのではないかと、という点に至りました。そこで4回目に2名を参考人招致することになりました。

次々と出てきた新たな資料

第4回(2月16日)では、元助役が参考人として出席し、質疑が行われました。しかし、元助役の一方的な答弁だけで事実確認がその場でできない、またこれまで委員会に出席していなかった市議会議長が同席して、委員長に短時間で切り上げるよう指示するなど、**事実究明には程遠い、不満足な審議に終わりました。**

一方、コンサルタント会社の担当者は「市の答弁が事実と異なるので事実認定を要求する」という意見書を提出し欠席しました。この意見書を市民団体が情報公開請求したところ、新たな資料の存在が明らかになりました。コンサルタント作成の実施計画原案と最終的に環境省に提出した正式文書の2文書

です。この二つの文書はほとんど内容が同じなのに、**風車の1kwあたりの単価が28万円から100万円に増額**されていました。またコンサルタントが出した**予算見積書には設置予定地点の風況調査費が含まれていたのですが、実際には調査が行われず、今回の失敗に至っています。**

第5回(5月21日)では単価変更の点に質疑が集中しました。誰の判断かとの質問に、担当者は「元助役が3億円の大規模事業で応募したいと指示した」と一旦答えましたが、委員会終了近くで「精査した上で次回報告したい」と答弁を翻しました。

まだまだ解明されていない!

単価変更の問題については、その経緯が明らかになっていません。これ以外にも、風車機種を選定にあたり選定委員会が形式だけになっていた点など、**まだまだ不明なことがたくさんあります。**

これからも大きな建設事業が予定されており、**税金の使い方を有効なものにするためにも、市民ネットは徹底的な原因解明を進めます。**

(※ 委員会の議事録は市議会 HP で公開されています。)

大豆畑トラストinつくば 参加者募集中!

今年も遺伝子組み換えでない国産大豆を栽培し、GMフリーゾーンを広げます! 7月8日種まきをしました。月1回除草作業、11月に収穫の予定。ブルーベリー摘みなど収穫体験も準備しています。みなさんの参加をお待ちしています。

参加費：1口2000円
申し込みは市民ネット事務局へ



当事者の声を活かして 真のバリアフリーを!

昨年12月、“高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）”が施行されました。これまでの交通バリアフリー法、“高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（ハートビル法）”を、

つくば市議会議員
文教福祉常任委員会所属
せと ゆみこ
瀬戸 裕美子



一般質問項目

1. 駅前再整備計画について
2. ユニバーサルデザイン基本方針とバリアフリー新法の関係
3. 学校給食と食育
4. 学校図書館の充実

より当事者の利用しやすい、実態に即したものにした法律といえます。

この法律に先駆けて作られた、つくば市ユニバーサルデザイン基本方針は、老若男女・障がいのあるなしなどに関わらず、**すべての人が、安全に安心して快適に暮らせるまちづくり**をめざすための方針です。つくばという多面的なこのまちで、ひとびとが、個性の違いを認め合いながら、快適な生活をおくるための方針といっていいいでしょう。

この中に描かれているユニバーサルデザインを実際の暮らしに役立つようにしていくためには、実施計画が必要です。**市民を多数交えた協議会や懇談会を実施して、その内容にふさわしい実施計画を立ててほしい**と思い、議会の一般質問で提案しました。

実施計画作りを当事者参加で

ユニバーサルデザインの実施計画には**当事者の視点が不可欠**です。たとえば県の施設である洞

峰公園のレストハウスのトイレ改修工事が行なわれましたが、

- ① 階段をスロープにしたが、傾斜が急で車椅子が使いにくい
 - ② 手すりを片側にしかつけないため、片側に麻痺のある人が使えない
 - ③ トイレのドアが狭くて車椅子が入らない
- という問題がおきました。**使う人にとって都合よくするためには、やはり当事者と一緒に考えることが重要です。**

これからつくば市では、駅前広場の再整備、新市庁舎、北部健康増進施設と、大きな建設予定が続きます。ここに、ユニバーサルデザインをとりいれて、本来の目的である、すべての人が快適に利用できるような施設にしていきたいものです。そのためには利用する市民の視点が必要です。懇談会など市民が参加できる機会をふやすように行政に働きかけていきましょう。

(※ユニバーサルデザイン基本方針は、つくば市HPで見ることができます。)

幼稚園と小・中学校の 耐震化の現状は・・・

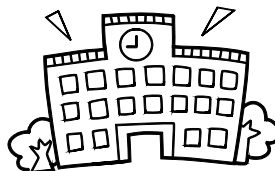
つくば市では現在、教育施設の耐震調査が行なわれています。昨年度は、耐震基準が新しくなった昭和56年以前に建設された152棟について、コンクリートの抜き取りによる第一次調査を行いました。

今年度は、耐震工事内容を決めるためのより詳しい調査を行います。この結果によって、来年度から優先度の高い順に改修工事を行なっていきます。

つくば市は学校の数が多く、工事完了には時間がかかるということですが、何よりも耐震診断を早く進め、工事が速やかに行なわれる必要があります。



子供たちの生命を守り、地域の防災拠点となる学校の安全確保を最優先するよう、行政に働きかけていきます。



わかりやすく市の財政状況説明を!

夕張市の財政破綻を目の当たりにし、つくば市はどうかと心配する声が多く寄せられています。つくば市では約 1800 億円の負債があります。そこで、今議会では財政の現状認識と今後の財政運営について、また、新庁舎建設、駅前再開発などの建設計画がここ数年に集中するので、返済のピークや負担総額についても尋ねました。

市長は、現在の財政状況は悪くなく、TX 効果を生かし開発重視でまちづくりを進めながら財源確保を図っていく、との考えを示しました。返済についてはピークが現れないよう平準化する。**今後 10 年間に年 60~70 億円程度の起債の償還を予定**している、との事でした。

まずは情報開示から!

つくば市は財政難を理由に、さまざまな市民の要望に応えられないと説明してきました。しかし現在抱えている負債の多くは、これまで市が行ってきた公共事業の結果であり、その内実は市民にきちんと知らされなければならないと考えます。また、**水道事業に係わる 100 億円事件や 3 億円風車事業など、数年おきに数億円をムダにしている事実があります。**市民から見えない部分が多く、十分にチェックできていないことがこのような失敗を誘発しているのではないかと考えます。何事においても**情報の開示を一番に考え、常に多くの目にさらされなが**

ら事業を進め、ムダを無くしていくべきです。今年度中に 10 ヶ年の長期財政計画を示すとの答弁に対し、**市民ネットは明確な数値を示し、市民に解り易い内容説明をするよう要望**しました。

三位一体の改革後、国は地方公共団体に対し、住民の理解と協力を得ながら財政運営が健全になるように、財政状況を積極的に公開し、他の自治体と比較ができる財政比較分析表を住民に示すよう指



つくば市議会議員
環境経済常任委員会所属
ながい えつこ
永井悦子

一般質問項目

1. 財政状況の情報開示について
2. 下水道政策
3. ごみ減量とリサイクル推進
4. まほろば（風車）事業裁判

示しています。しかしこの通達から 2 年が経過していますが、つくば市は公表や説明はしていません。

税金の使い道を知りたい、夕張市とつくば市はどう違うのか、という市民の気持ちにしっかり応えるなら、**財政資料は積極的に公開し説明していくべきで、今後強く要望していきます。**

莫大な税金をつぎこむ下水道…だからこそ十分な情報公開を!

1800 億円にのぼる市の負債のうち約 600 億円が下水道事業の赤字です。公共下水道整備の現状は計画区域 10300ha 中 6700ha (65%) が終了しています。**H27 年迄の計画があり、その費用は約 300 億円が見込まれ、その他 T X 沿線の下水道整備に 280 億円が予定されています。**この様に莫大な費用がかかる公共下水道は、その全てが公共事業であることから関係資料は積極的に公開すべきです。たとえば、

1. 事業の全容を地図と共に分かりやすく知らせる。
 2. これまでにかかった費用、これからかかる費用を T X 沿線や未整備地区など項目別に示す。
 3. 公共下水道だけでなく他の浄化方法も同様に政策化し、選択できるようにする。
- 以上の点を進めるよう、これからも働きかけていきます。



傍聴席から

最終日、広域合併調査委員会の委員選出のため休憩となった本会議場で、市原市長が茎崎出身の議員に向かって「茎崎は牛久市に返すから、もう一回しきり直しやろうよ。その方がすっきりしていいじゃない！新市計画（合併協定）もう一回作り直してもらって。」と言い出しました。

休憩中とはいえ、本会議場での市長の発言に傍聴者一同絶句！今議会には、茎崎地区区会連合会から合併時の約束の実施を求める陳情も出されており、茎崎出身議員の一般質問でも、この点が議論されていました。

市長は選挙時の公約に「合併協定を反故にせず約束を守る」と書いています。気に入らないなら出て行けではなく、**お互いの長所を取り入れて、魅力ある住みやすいつくば市をみんなで作って行きたいものです。**（宇野信子）

市民協働ガイドライン策定へ 市民ワークショップ始まる！

地域住民にとって本当に必要な行政サービスを効果的・効率的に展開する方法として、事業を市民協働で展開する試みが各地で始まっています。そのための条例やガイドラインも作られています。

現在、つくば市では行政と市民が協働で行っている事業がたくさんありますが、「そもそも市民協働とは何か？」「どんなことをどのように市民と行政が協力、役割分担して行うのか？」「その際守るべきルールは？」等について明確な基準がないために、現場が混乱することが多々ありました。そこで、つくば市でも「市民協働ガイドライン」を策定することになりました。

市民ネットは、「市民協働ガイドライン」だからこそ、市役所内部の検討ではなく、素案作りから市民参加で行ないたいと担当課へ働きかけてきました。念願かなって、**市民自ら素案作りに参画する場として市民ワークショップが開催**されます。（7月下旬～8月末計5回の予定です。）

- ● ● つくば・市民ネットワークの主な活動報告 ● ● ●
- 4/5 子どもの読書環境の整備を図るつくば市議員連盟勉強会
- /23 つくば市景観計画検討委員会傍聴
- /28 障害者の自立生活を応援するワークショップ参加
- 5/7・8 議員と話そう会開催
- /8～10 文教福祉常任委員会視察（山形・秋田）
- /11 都市建設常任委員会（請願審査・現地調査）傍聴
- /11 国立環境研究所訪問（リサイクル関連）
- /21 小型風力発電事業に係る調査特別委員会
- /23 TX関連まちづくり推進特別委員会
- /24 環境展2007視察
- /25 つくば市景観計画検討委員会傍聴
- 6/1～21 6月定例市議会
- /4 つくば市遺伝子組み換え作物栽培連絡会
- /16 有機農業推進法講演会
- /24 つくば市母親大会
- /29 街頭議会速報
- 7/7 全国自生なたねウォッチング報告集会
- /8 大豆畑トラストinつくば 種まき（手子生）

市民協働ガイドライン 第1回市民ワークショップ

日程：7月21日(土)
時間：13:30～
場所：市民活動センター
参加費：無料

市民協働について（中村紀一氏：筑波大学特任教授）のお話を聴き、意見交換を行います。

つくば市の今後の市民協働のあり方を決める大切なガイドラインです。多くの市民が積極的に参画して、「市民協働が促進」できるガイドラインを作りましょう！



市議会議員と話そう！会

7月16日(月) 10～12時
吾妻公民館

今回は「ごみ減量とリサイクルを考える市民集会」と題して、市のリサイクル推進課のお話を聞き、意見交換も行います。

つくば・市民ネットワーク 会員募集中

一緒にまちづくりを考えてみませんか。興味のある方、お気軽にご連絡ください。
 Tel&Fax 029-859-0264

編集後記
 風車、議員定数、リサイクルプラザ、ゴミ減量…次々と検討課題が押し寄せます。そんな中で公務員宿舎廃止の情報…住処の心配もせねば！